



第8ステージは、木曾川からの3箇年の導水が終了した後の秋から初冬に実施した調査です。

調査期間は、平成22年9月12日から12月17日でした。

堀川1000人調査隊2010



～堀川社会実験～

1.目的

堀川浄化のため、木曽川の清らかな水を堀川へ流し、その浄化効果を市民とともに検証する。

- (1) 新規浄化施策への展開
- (2) 生態系への影響の把握
- (3) 市民の浄化活動の継続と盛り上げ
- (4) 流域全体の浄化意識向上への展開

2.水源及び導水量

- (1) 水 源 一級河川木曽川水系木曽川
- (2) 導水量 毎秒0.4立方メートルを上限

3.実施期間

- (1) 実験期間:概ね5年間(平成19年4月から平成24年3月まで)
(導水終了後の事後調査、評価期間を含める)
- (2) 導水期間:平成19年4月22日から平成22年3月22日の3年間…終了

■ 庄内川からの導水の増量実験(追加実験)

1.水源及び導水量

- (1) 水 源 一級河川庄内川水系庄内川
- (2) 導水量 毎秒0.4立方メートルを上限に増量
(総導水量:毎秒0.7立方メートルを上限)

2.増量期間

- (1) 実験期間:平成22年10月1日から平成22年12月31日
- (2) 増量期間:平成22年10月5日から平成22年11月 2日

堀川1000人調査隊2010結成

(平成19年4月22日)

導水による浄化効果を市民の視点と感覚で調査を開始



■市民の視点と感覚

- ・汚れ ・透明感 ・色 ・あわ ・臭い
- ・こみ ・生き物など

1

堀川1000人調査隊2010は、堀川の浄化と再生を願う市民の活動の場(定点観測隊、自由研究隊、応援隊)として、平成19年4月22日に発足しました。

定点観測隊は、木曽川からの導水による堀川の浄化効果を市民の視点と感覚で調べています。自由研究隊は、堀川を自由な視点で研究をしています。応援隊は、自由なスタイルで堀川の浄化・再生を応援しています。そして、この3つの活動が堀川の浄化と再生を願い、大きなネットワークの中でお互いに手をつないで活動をしています。

木曽川からの導水は、平成19年4月22日から平成22年3月22日の3年間行われました。

第8ステージの調査は、木曽川からの導水が終了した後の堀川の状態の変化を調べるため、春から初夏の状態を調べた第7ステージに引き続き、秋から初冬の状態を調べるために実施しました。

また、調査期間のうち10月5日から11月2日の間は、庄内川からの導水が毎秒0.3立方メートルから0.7立方メートルに増量(0.4立方メートル増量)されました。第8ステージでは、庄内川からの導水の増量による堀川の変化もあわせて調べました。

庄内川からの導水増量分の毎秒0.4立方メートルは、1秒間に一般の家庭のお風呂の浴槽2杯分程度の量です。木曽川から導水された量と同じ量です。

調査隊の登録状況

(平成19年3月26日受付開始)



	発足時 平成19年4月22日	現在 平成23年3月19日現在
定点観測隊	55隊 497人	80隊 863人
自由研究隊	22隊 234人	37隊 632人
応援隊	88隊 1,531人	2,017隊 14,792人
計	165隊 2,262人	2,134隊 16,287人

3

3月19日現在の調査隊の登録状況です。

定点観測隊が80隊、863人、自由研究隊が37隊、632人、応援隊が2,017隊、14,744人、合計で2,134隊、16,287人です。

発足時は165隊、2,262人でしたので、堀川の浄化と再生を願う市民のネットワークが大きく広がったことがわかります。



調査期間・調査結果の報告数



調査期間		報告数
第1ステージ	春～初夏/平成19年4月22日～6月30日	258件
中間	平成19年7月1日～9月7日	134件
第2ステージ	秋～初冬/平成19年9月8日～12月16日	383件
中間	平成19年12月17日～平成20年3月31日	103件
第3ステージ	春～初夏/平成20年4月1日～6月30日	245件
中間	平成20年7月1日～9月27日	64件
第4ステージ	秋～初冬/平成20年9月28日～12月16日	152件
中間	平成20年12月17日～平成21年3月31日	100件
第5ステージ	春～初夏/平成21年4月1日～6月30日	145件
中間	平成21年7月1日～9月26日	54件
第6ステージ	秋～初冬/平成21年9月27日～12月16日	120件
中間	平成21年12月17日～平成22年3月31日	81件
第7ステージ	春～初夏/平成22年4月1日～6月30日	111件
中間	平成22年7月1日～平成22年9月11日	44件
第8ステージ	秋～初冬/平成22年9月12日～12月17日	104件
計		2,098件

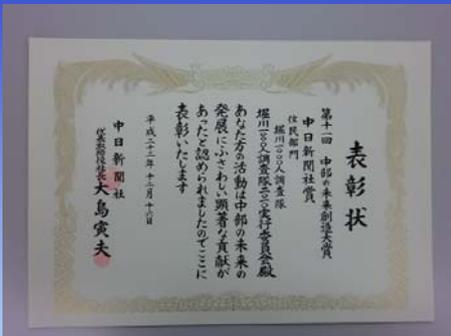
5

定点観測隊の活動の状況について説明します。

定点観測隊は、木曾川からの導水が停止した後も観測を継続しており、第8ステージ終了までの間に2,098回の観測を実施しました。

これまでの調査で、堀川の猿投橋から下流区間(感潮区間)は、潮の干満によって、水域の様子が時々刻々と変化していることがわかってきました。また、定点観測隊がたくさんの観測(いろいろな場所、潮の状態、時間帯に観測)をすることで、堀川の平均的な状態をとらえられることができ、その変化の傾向がとらえられることがわかってきました。木曾川からの導水による堀川の浄化効果と導水停止後の変化も少しずつ見えてきました。

**堀川1000人調査隊
中部の未来創造大賞
特別賞(中日新聞社賞)を受賞**



堀川1000人調査隊



堀川1000人調査隊2010実行委員会

〒460-0003 愛知県名古屋市中区栄5丁目17番30号
 コーポビル606 名古屋堀川ライオンズクラブ内
 TEL 052-227-2988
 URL <http://www.horikawa1000in.jp>

堀川の浄化、再生を進めるためには、行政の施策に頼るだけでなく、市民が積極的に関わりをもち、行政と市民がお互いに協力してゆくことが必要と考え、堀川1000人調査隊は、堀川浄化を目指し、行政と連携できる幅広い市民運動として存続することを目的としています。

幅広い市民層をネットワーク化するために、各調査隊の自発的な活動や個性を尊重し、「ゆるやかな連携」を基本としています。

名古屋市の水質汚濁実態調査の結果を市民の視眼で検証することを目的とする「定点観測隊」と、大学・企業などを主力とする「自由研究隊」を堀川1000人調査隊の中核隊として位置づけ、この熱心で関心の高い層をコアに、各調査隊が協力し合って堀川の実際問題を克服するかわり、堀川に関心をもち市民層を「堀川応援隊」に勧誘、裾野の広がりを目指しています。各調査隊の活動は自主的、自由に行われ、実行委員会・事務局は全体の方向付けや、各調査隊への情報提供、活動支援を行っています。

行政と連携して行う堀川フワフワフェスティバル、ワークショップフェスティバル、水利用上下流交流などの大きなイベントを企画・実施する趣意を述べて、より多くの人を堀川応援隊に取り込み、温かみのあるネットワークを広げています。



堀川1000人調査隊2010部会式



インター・ネットライブ

6

FUTURE CREATION 2019

平成22年12月16日、名古屋市中区の名古屋合同庁舎2号館(8階会議室)で「中部の未来創造大賞」の表彰式が開催されました。

堀川1000人調査隊は、特別賞(中日新聞社賞)を受賞いたしました。

たくさんの市民の皆さんと、行政が連携し、堀川の浄化・再生に向けて積極的に活動している姿が、中部の未来を創造するに相応しい活動として認められ、表彰していただいたものです。



庄内川からの導水の増量実績

第8ステージ調査期間
平成22年9月12日～12月17日



調査月	第8ステージ調査日数	庄内川からの導水増量日数
9月	29日	—
10月	31日	27日
11月	30日	2日
12月	17日	—
計	107日	29日 (27%) <small>(%:増量日数/調査日数×100)</small>

注)増量日数は、導水の増量が少しでもされた日を1日として計算

11

第8ステージの調査期間の日数は、平成22年9月12日～12月17日の107日でした。

庄内川からの導水の増量は、平成22年10月5日から平成22年11月2日の間で行われ、増量日数は、29日でした。

第8ステージの期間日数(107日)の27%の日で導水が増量されました。

注)導水日数は、導水が少しでもされた日を1日として計算しました。

第8ステージのまとめ

1. 庄内川からの導水の増量による変化について

※栄橋～猿投橋間は、調査データ数が少なかったため、猿投橋～港新橋間の調査データのみで評価

■ 水の汚れの印象の変化

猿投橋～港新橋間では、導水の増量期間中の“①きれい”～“③どちらともいえない”^{*}の割合が増量なしの期間より少なくなり(51%→39%)、水の汚れの印象が悪くなりました。

*“①きれい”～“③どちらともいえない”を市民の許容範囲として整理

■ 透視度の変化

猿投橋～港新橋間では、導水の増量の有無による顕著なちがいは確認されませんでした。

■ CODの変化

猿投橋～港新橋間では、導水の増量の有無による顕著なちがいは確認されませんでした。

猿投橋～港新橋間

項目	導水の増量なし 平成22年9月12日 から10月4日 同年11月3日 から12月17日	導水の増量あり 平成22年10月5日 から11月2日	評価
水の汚れの印象 “きれい”～“どちらとも いえない”の割合	51%	39%	悪化
透視度	78cm	77cm	顕著な変化なし
COD	10mg/L	12mg/L	顕著な変化なし

12

庄内川からの導水の増量による変化について説明をします。

栄橋～猿投橋間は、調査データ数が少なかったため、猿投橋～港新橋間の調査データのみで評価します。

まず、水の汚れの印象の変化についてです。

“①きれい”～“③どちらともいえない”を市民の許容範囲として整理しました。

猿投橋～港新橋間では、導水増量期間中の“①きれい”～“③どちらともいえない”の割合が増量なしの時の51%から39%に減りました。これは水の汚れの印象が悪くなったということです。

次に透視度の変化についてです。

猿投橋～港新橋間の透視度は、導水の増量なしの時に78cm、増量ありの時に77cmでした。導水の増量の有無による顕著なちがいは確認されませんでした。

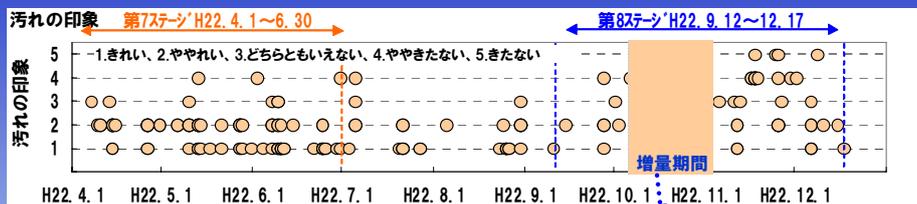
次にCODの変化についてです。

猿投橋～港新橋間のCODは、導水の増量なしの時に10mg/L、増量ありの時に12mg/Lでした。導水の増量の有無による顕著なちがいは確認されませんでした。

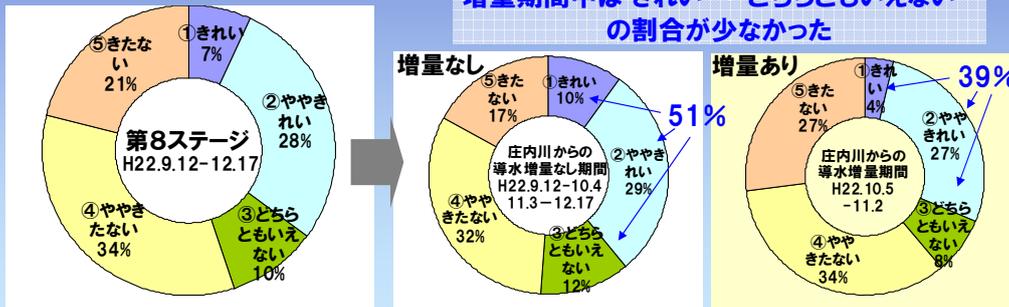
庄内川からの導水の増量期間 水の汚れの印象の変化

■ 猿投橋～港新橋間

平成22年4月1日～12月17日 前日・当日の降雨なし



増量期間中は“きれい”～“どちらともいえない”
の割合が少なかった



*“①きれい”～“③どちらともいえない”を市民の許容範囲として整理

19

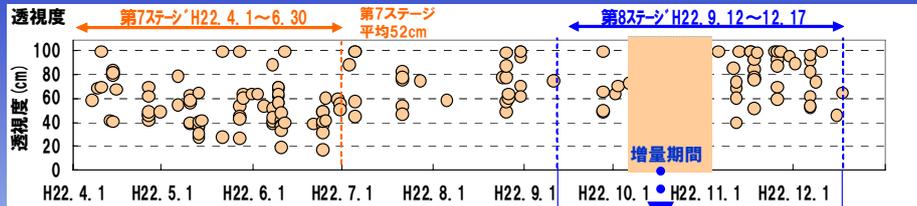
具体的にグラフで庄内川からの導水の増量による水の汚れの印象の変化を見て下さい。“きれい”～“どちらともいえない”の割合が51%から39%に減り、水の汚れの印象が悪くなったということがわかります。

庄内川からの導水の増量期間 透視度の変化

平成22年4月1日～12月17日 前日・当日の降雨なし

■ 猿投橋～港新橋間

第8ステージ 平均78cm



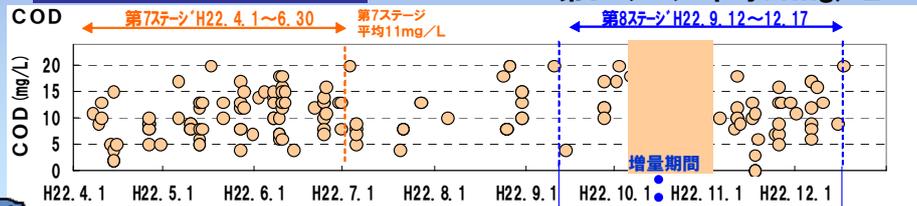
導水増量による
顕著な変化は確認されなかった

増量期間 平均77cm
増量なし期間 平均78cm

20

■ 猿投橋～港新橋間

第8ステージ 平均11mg/L



導水増量による
顕著な変化は確認されなかった

増量期間 平均12mg/L
増量なし期間 平均10mg/L

21



具体的にグラフで庄内川からの導水の増量による透視度とCODの変化を見て下さい。

透視度とCODは、調査日によって変化をしていますが、平均値で評価すると導水の増量の有無による顕著な違いは確認されませんでした。

2. 木曽川からの導水が停止した後の堀川の変化について

導水停止後に堀川の水質が悪化したことを確認
(第7・第8ステージ)

導水期間中に浄化の効果があったと考えられます

		導水停止後の変化					評価方法
項目		港新橋 ～大瀬子橋	大瀬子橋 ～松重橋	松重橋 ～朝日橋	朝日橋 ～城北橋	城北橋 ～猿投橋	
水の汚れの 印象	第7ステージ	-	●	●	-	●	導水期間中(春～初夏)と 第7ステージ(導水停止後:春～初夏)を比較 導水期間中(秋～初冬)と 第8ステージ(導水停止後:秋～初冬)を比較
	第8ステージ	-		●	-		
透視度	第7ステージ	-	-	●	-	●	
	第8ステージ	-	●	●	-	●	
COD	第7ステージ	-	-	●	-	●	
	第8ステージ	-		●	-	●	
あわの 発生状況	第7ステージ	-	●	-	-	●	
	第8ステージ	-		●	-	●	
臭いの 発生状況	第7ステージ	-	●	-	-	●	
	第8ステージ	-	●		-		

注) ●: 導水停止後に悪化を確認した区間
-: 調査データがない又は少ない(9件以下)ため、評価をしなかった区間を示す。

13

■ 水の汚れの印象について

猿投橋～城北橋、朝日橋～大瀬子橋間の水の汚れの印象は、導水停止直後の第7ステージ(春～初夏)が第5ステージ(導水中)よりも“きれい”～“どちらともいえない”の割合が減少し、水の汚れの印象が悪化しました。しかし、第8ステージ(秋～初冬)は、昨年の同時期の第6ステージ(導水中)よりも“きれい”～“どちらともいえない”の割合が増加し、水の汚れの印象が改善しました。色やごみなどの変化が水の汚れの印象に影響したようです。

このため、第8ステージの結果からは、導水期間中に水の汚れの印象が改善していたかどうかはわかりませんでした。

■ 透明感について

導水停止後の第8ステージの透視度は、猿投橋～城北橋間、朝日橋～大瀬子橋間で導水期間中(第6ステージ)よりも透視度が2cm～13cm減少しました。特に朝日橋～松重橋間で大きく減少しました。この結果から導水期間中に透視度が改善していたことがわかりました。

■ CODについて

導水停止後の第8ステージは、猿投橋～城北橋間、朝日橋～大瀬子橋間で導水期間中(第6ステージ)よりもCODが1mg/L～4mg/L増加しました。特に猿投橋～城北橋間で多く増加しました。この結果から導水期間中にCODが改善していたことがわかりました。

■ あわについて

第8ステージは、導水期間中(第6ステージ)よりも猿投橋～城北橋間と朝日橋～松重橋間で“あわ”の発生頻度が増加しました。導水期間中は、あわの発生原因の1つとなっている底質が改善していたものと考えられます。

■ 臭いについて

第8ステージは、導水期間中(第6ステージ)よりも朝日橋～松重橋間でにおいが減少し、松重橋～大瀬子橋間で“におい”が増加しました。松重橋～大瀬子橋間は、導水期

●導水停止後の調査でも導水期間中に浄化の効果があつたことを確認

水質は木曾川からの導水期間中(第1ステージ～第6ステージ)に改善の傾向であつたが、導水停止後(第7・第8ステージ)に悪化した区間が確認されました。これによって導水期間中に浄化の効果があつたことが確認されました。

改善区間の整理

項目	評価方法	港新橋 ～大瀬子橋	大瀬子橋 ～松重橋	松重橋 ～朝日橋	朝日橋 ～城北橋	城北橋 ～猿投橋
水の汚れの 印象	第1～6ステージ：導水期間中 導水期間中の改善傾向	-	-	○	○	○
	導水期間中(春～初夏)と 第7ステージ(導水停止後：春～初夏)を比較	-	●	●	-	●
	導水期間中(秋～初冬)と 第8ステージ(導水停止後：秋～初冬)を比較	-	●	●	-	●
透視度	第1～6ステージ：導水期間中 導水期間中の改善傾向	-	-	○	-	○
	導水期間中(春～初夏)と 第7ステージ(導水停止後：春～初夏)を比較	-	-	●	-	●
	導水期間中(秋～初冬)と 第8ステージ(導水停止後：秋～初冬)を比較	-	●	●	-	●
COD	第1～6ステージ：導水期間中 導水期間中の改善傾向	-	-	○	○	○
	導水期間中(春～初夏)と 第7ステージ(導水停止後：春～初夏)を比較	-	-	●	-	●
	導水期間中(秋～初冬)と 第8ステージ(導水停止後：秋～初冬)を比較	-	●	●	-	●
あわの 発生状況	第1～6ステージ：導水期間中 導水期間中の改善傾向	-	-	○	-	○
	導水期間中(春～初夏)と 第7ステージ(導水停止後：春～初夏)を比較	-	●	-	-	●
	導水期間中(秋～初冬)と 第8ステージ(導水停止後：秋～初冬)を比較	-	●	●	-	●
臭いの 発生状況	第1～6ステージ：導水期間中 導水期間中の改善傾向	-	-	-	○	○
	導水期間中(春～初夏)と 第7ステージ(導水停止後：春～初夏)を比較	-	●	-	-	●
	導水期間中(秋～初冬)と 第8ステージ(導水停止後：秋～初冬)を比較	-	●	●	-	●

注) ○：導水期間中の改善が確認された区間
●：導水停止後に悪化したことにより、導水期間中の改善が確認された区間
-：調査データがない又は少ない(9件以下)ため、評価をしなかった区間を示す。

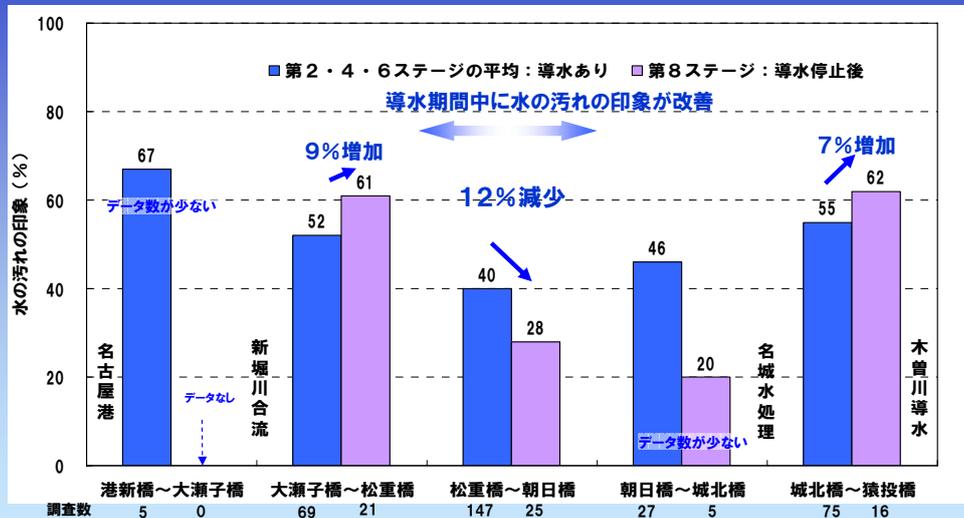
ここでは、第1ステージから第6ステージで確認された導水期間中の改善の傾向と前ページの結果を並べて掲載しました。

水の汚れの印象

“きれい”～“どちらともいえない”^{*}の割合

導水期間中と導水停止後の比較

第6ステージ: 木曾川からの導水あり
前日・当日の降雨なし
第8ステージ: 木曾川からの導水なし
前日・当日の降雨なし



26

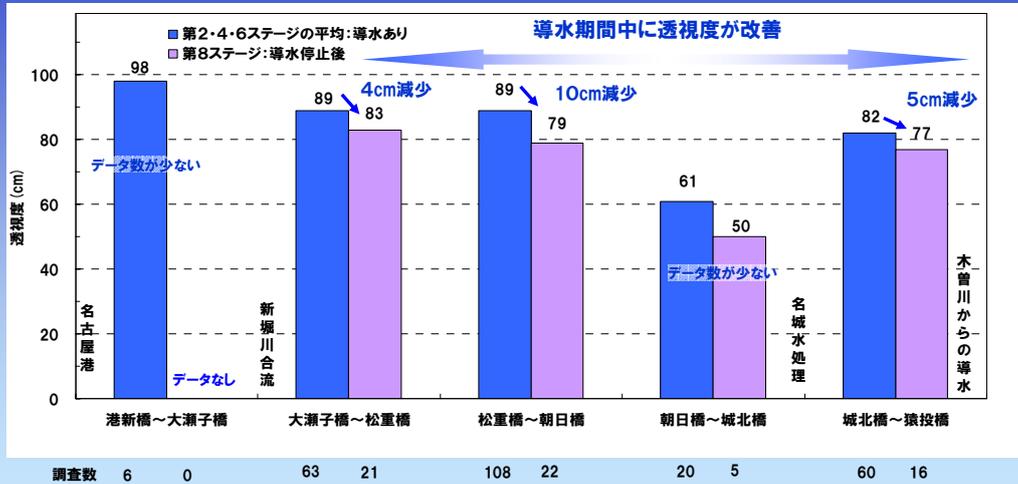
■導水停止後に猿投橋～港新橋間の水の汚れの印象はどのように変化したのか？

朝日橋～松重橋間で水の汚れの印象が減少しました。この結果から朝日橋～松重橋間で導水期間中に水の汚れの印象が改善していたことがわかりました。

*“①きれい”～“③どちらともいえない”を市民の許容範囲として整理をしてみました。

透視度の変化 導水期間中と導水停止後の比較

第6ステージ: 木曾川からの導水あり
前日・当日の降雨なし
第8ステージ: 木曾川からの導水なし
前日・当日の降雨なし



33

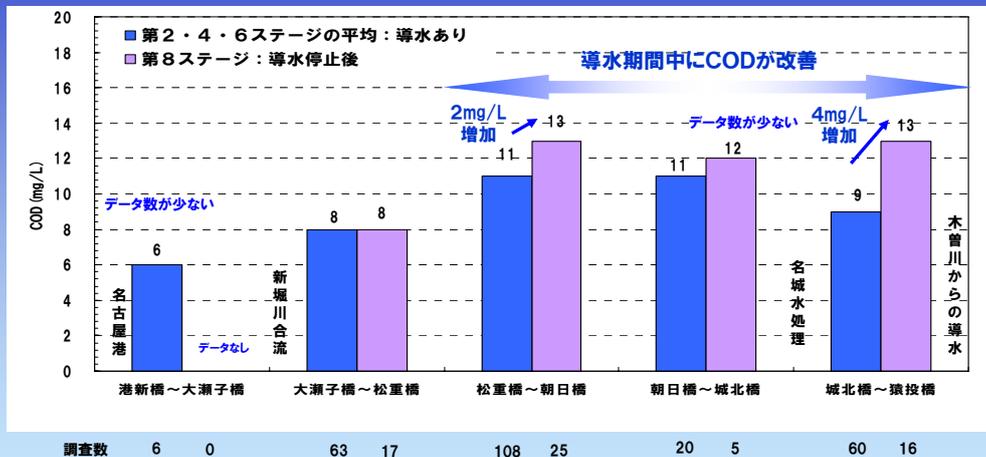
■導水停止後に猿投橋～港新橋間の透視度はどのように変化したのか？

導水停止後の第8ステージの透視度は、猿投橋～城北橋間、朝日橋～大瀬子橋間で導水期間中(第2,4,6ステージ)よりも透視度が4cm～10cm減少しました。特に朝日橋～松重橋間で大きく減少しました。

この結果から導水期間中に透視度が改善していたことがわかりました。

COD 導水期間中と導水停止後の比較

第6ステージ: 木曾川からの導水あり
前日・当日の降雨なし
第8ステージ: 木曾川からの導水なし
前日・当日の降雨なし

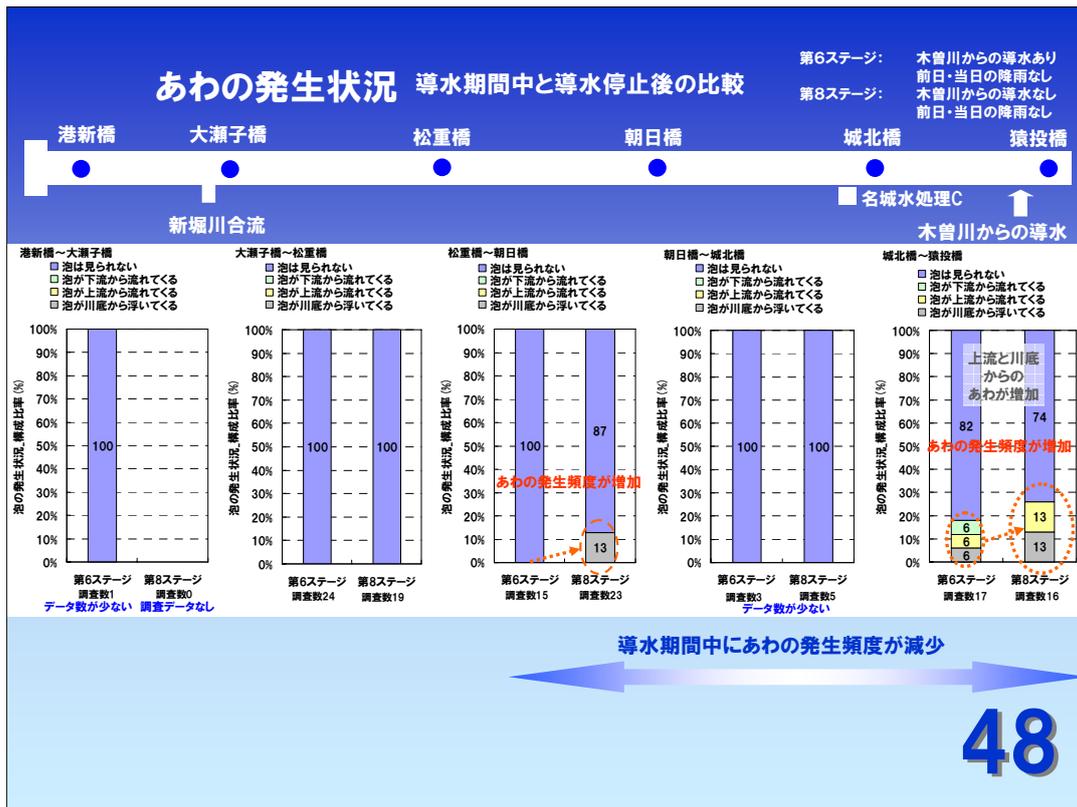


40

■導水停止後に猿投橋～港新橋間のCODはどのように変化したのか？

導水停止後の第8ステージは、猿投橋～城北橋間、朝日橋～松重橋間で導水期間中(第2,4,6ステージ)よりもCODが2mg/L～4mg/L増加しました。特に猿投橋～城北橋間で多く増加しました。

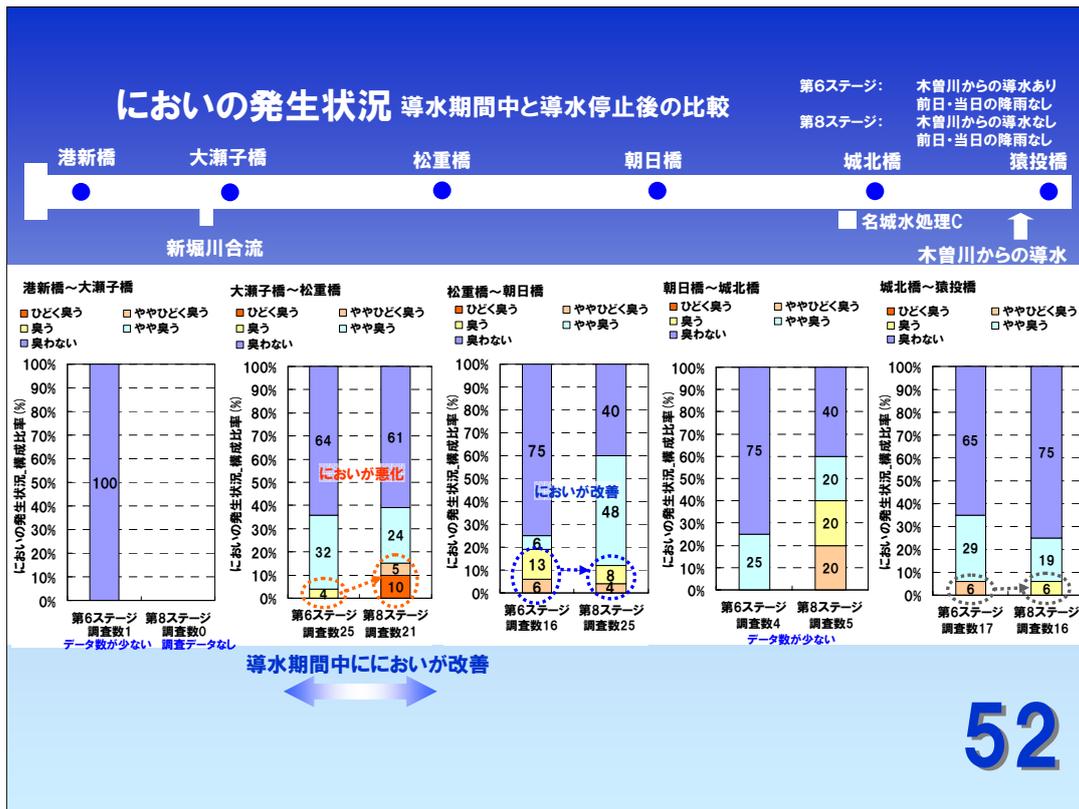
この結果から導水期間中にCODが改善していたことがわかりました。



■導水停止後に猿投橋～港新橋間の“あわ”はどのように変化したのか？

導水停止後の第8ステージは、導水期間中(第6ステージ)よりも猿投橋～城北橋間と朝日橋～松重橋間で“あわ”の発生頻度が増加しました。

導水期間中は、あわの発生原因の1つとなっている底質が改善していたものと考えられます。



■導水停止後に猿投橋～港新橋間の“におい”はどのように変化したのか？

導水停止後の第8ステージは、導水期間中(第6ステージ)よりも朝日橋～松重橋間でにおいが減少し、松重橋～大瀬子橋間で“におい”が増加しました。松重橋～大瀬子橋間は、導水期間中ににおいが改善していたことがわかりました。(臭わない・やや臭うの割合が増加)

なお、第8ステージにおいて朝日橋～松重橋間でにおいが改善(臭わない・やや臭うの割合が増加)した理由については、現時点のデータで分析することはできません。

第8ステージの生き物の様子

生き物調査

黒川ドリーム会会長(堀川1000人調査隊実行委員会
会長)の梅本さんの指導のもとで「堀川生き物調査」が開
催されました。
モクスガニ、スジエビ、ザリガニ、オイカワ、メダカ等。



報告:御用水跡街園愛護会調査隊

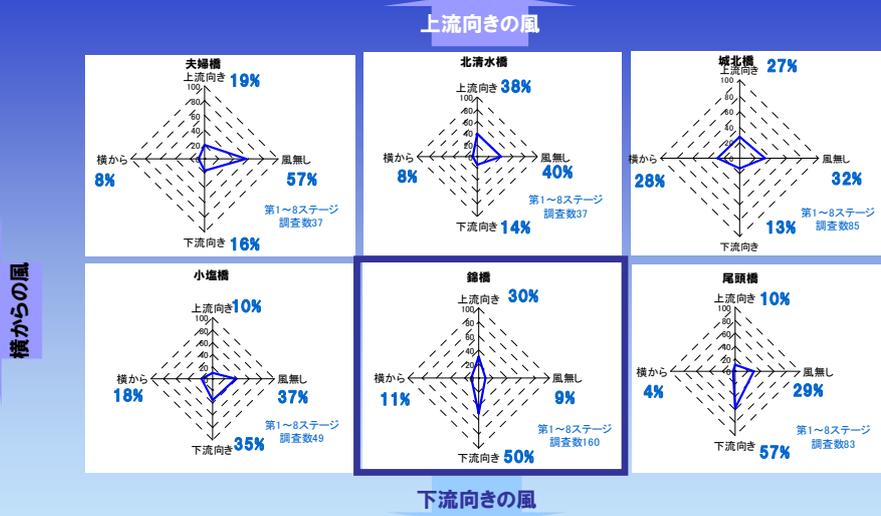


納屋橋付近で今年
もたくさんのベンケ
イガニが見られまし
た。(4月頃から11
月頃にかけて)



納屋橋付近で10
月中旬頃から12
月中旬にモクスガ
ニが見られました。
産卵のために降
下しているものと
考えられます。

風の向き(導水あり、降雨なし)



堀川に沿って吹く風が多い

69

■風の向きは？

第1ステージから第8ステージまでの全部のデータを使って、整理をしました。
横から吹く風よりも、堀川に沿って吹く風の割合の方が多いようです。
錦橋では約8割が堀川に沿って風が吹いているようです。

5. 市民意識の向上 学習会など

70



第7回 堀川1000人調査隊会議
報告:事務局
場所:名城水処理センター



堀川1000人調査隊の報告会
名古屋:北区



堀川生き物観察会
主催:堀川ドリーム会調査隊
報告:御用水跡街園愛護会調査隊



中川区八熊小学校5年生
堀川乗船体験
報告:事務局



堀川1000人調査隊
報告会の内容をまとめた今月中にも
河村名古屋市長に手紙送付方針



曾川導水終了後、堀川の透明度悪化などを報告



木曾広域連合議会
経済観光常任委員会
堀川を視察研修
案内:名古屋堀川ライオンズクラブ
協力:名古屋市上下水道局
報告:事務局



平成22年中村エコライフ学校 第3回
場所:名古屋市市中村保健所
報告:事務局



学習会「堀川の現状と未来について」
開催:中誠城会
報告:御用水跡街園愛護会調査隊



名古屋友禅の工房見学と御用水跡街園を歩こう会
開催:誠城・堀川と生活を考える会調査隊
報告:御用水跡街園愛護会調査隊



秋の歴史ウォーク
主催:名古屋市上下水道局
報告:御用水跡街園愛護会調査隊

主な学習会などを整理しました。

市民意識の向上 学習会など

堀川浄化の歩みとこれから
堀川開削400年記念シンポジウム
都市河川の蘇生とまちづくり
報告:事務局

**堀川開削400年記念
シンポジウム
都市河川の蘇生とまちづくり
報告:事務局**

**中川区八熊小学校5年生
堀川総合学習の成果発表
報告:事務局**

**堀川体験乗船
丸の内中学校1年生
開催:名古屋ホストライオンズクラブ
報告:事務局**

**名瀬地区高等学校社会科教育研究会の皆さん
協力:名古屋堀川ライオンズクラブ**

御用水歩こう会

街路樹大討論会

**名古屋友禅の
工房見学と御
用水跡街園を
歩こう会**

報告:御用水跡街園愛護会調査隊

報告:御用水跡街園愛護会調査隊

報告:御用水跡街園愛護会調査隊

**名古屋ライオンズ
クラブ 散策**

**なごや緑カレッジ 成果報告会
名城大・大同大・名古屋工業大・
名古屋学院大の建築・都市計画・
土木・経済系の5研究室の学生の皆さん
報告:名古屋工業大学准教授
秀島栄三先生**

**COP10会場
見学
地球倶楽部
調査隊**

**フィールド道徳の学び
実践報告会を堀川しぼす**

NAGOYA COLLEGE

主な学習会などを整理しました。

市民意識の向上 自由研究・応援隊などの活動



EM団子投入
堀川エコクラブ 堀川ドリーム会
報告:堀川エコクラブ
(名古屋市高年大学22期調査隊)



定点観測
明電舎錦調査隊

観測項目	観測日時	観測地点	観測結果
水質	2022年9月10日	堀川(1)	良好
水質	2022年9月10日	堀川(2)	良好
水質	2022年9月10日	堀川(3)	良好
水質	2022年9月10日	堀川(4)	良好
水質	2022年9月10日	堀川(5)	良好
水質	2022年9月10日	堀川(6)	良好
水質	2022年9月10日	堀川(7)	良好
水質	2022年9月10日	堀川(8)	良好
水質	2022年9月10日	堀川(9)	良好
水質	2022年9月10日	堀川(10)	良好



堀川にすむ魚
作成:名古屋市緑政土木局
堀川総合整備室



清掃活動 開催:報告:鯉城・堀川と生活を考える会調査隊



名古屋北ホームニュース
平成22年9月11日より

清掃活動 堀川上流部合同清掃会
参加:ロマン黒川
報告:御用水跡街園愛護会調査隊



堀川1000人調査隊代表
河村市長を訪問
第7回調査隊会議の結果報告



清掃活動 JAのスタッフの方々



「秋の堀川花盛り」フラワーハンギングバスケットの作成
報告:事務局、かわせみ調査隊

自由研究・応援隊などの活動を整理しました。

市民意識の向上 自由研究・応援隊などの活動

73



清掃活動 ロマン黒川 支援センターなないろ
報告:御用水跡街園愛護会調査隊



清掃活動 EM団子投入
名古屋地区ライオンズクラブ
地域の市民の皆さん
334A地区 1R 1Z+2Z
合同アクティビティ



清掃活動
中日本建設コンサル
tant(株)
かわせみ・かるがも
調査隊、かもめ応
援隊



おもてなし武将隊
御用水跡街園で
番組撮影
報告:御用水跡街
園愛護会調査隊



COP10 関連イベント
堀川のヘドロ体験開催
報告:御用水跡街園愛護会調査隊



中日新聞 平成22年10月23日朝刊



名古屋市 高年大学 誠城学園文化祭
研究成果の発表
名古屋市 高年大学 24・25期調査隊
報告:事務局



中日新聞 平成22年12月1日朝刊



堀川水質調査の成果発表 (堀川ギャラリー)
誠城・堀川と生活を考える会
報告:事務局

自由研究・応援隊などの活動を整理しました。

市民意識の向上 自由研究・応援隊などの活動など

空芯菜の栄養価と水質浄化水量

掲載場所：堀川（名古屋市）
 掲載日：平成22年10月13日（金）
 掲載項目：1. 空芯菜の水質浄化水量について
 2. 空芯菜の栄養価の比較

期日：平成22年11月13日
 住所：〒460-0972 01
 岐阜県立恵那農業高等学校 2620-17
 学校名：岐阜県立恵那農業高等学校
 電話：0573-26-1253
 FAX：0573-26-1252
 作成者：環境科学科 森本 達樹

**つくって楽しむ、食べたりするまで
ペットボトルミニ浮島**

ペットボトルのキャップを再利用して作ったミニ浮島は、水質浄化に効果的。また、見た目も可愛らしく、子どもたちも興味を持って取り組んでいます。

浮島は、水質浄化に効果的。また、見た目も可愛らしく、子どもたちも興味を持って取り組んでいます。

堀川の空芯菜スラッシュ

浄化実験、密着やリン吸収し、栄養分をみそ汁の汁で味わおう

空芯菜のスラッシュは、水質浄化に効果的。また、見た目も可愛らしく、子どもたちも興味を持って取り組んでいます。

**納屋橋の空芯菜
栄養価と水質浄化効果を分析**
 岐阜県立恵那農業高等学校 環境学科
 森本達雄先生 報告：事務局

**納屋橋 空芯菜栽培実験
恵那農業高等学校
名古屋堀川ライオンズクラブ
報告：事務局**

中日新聞
平成22年10月15日
朝刊

堀川のタイムカプセル

先生徒会長の遺志込めたカプセル開封

市郷高生徒ら
堀川浄化誓う

読売新聞 平成22年11月21日 朝刊より

74

納屋橋 タイムカプセル開封・展示
名古屋経済大学市郷高等学校
名古屋堀川ライオンズクラブ
協力：シーフードレストラン ほどりす
報告：事務局

自由研究・応援隊などの活動を整理しました。

市民意識の向上 イベントなど



堀川スターフェスティバル2010
主催：堀川スターフェスティバル実行委員会
報告：事務局、御用水跡街園愛護会調査隊



第6回堀川エコロボットコンテスト2010
主催：名古屋工業大学
名古屋堀川ライオンズクラブ
報告：御用水跡街園愛護会調査隊



中日新聞
2010年
8月30日
朝刊より



環境デーなごや
名古屋市青年大学24期、25期調査隊
名古屋堀川ライオンズクラブ調査隊
報告：事務局



ナゴヤ堀川・
歴史観光クルーズ
報告：
御用水跡街園愛護会調査隊



中日新聞
平成22年10月2日
朝刊より



フラワーガーデン点灯式
主催：名古屋ホストライオンズクラブ
名古屋名塚ライオンズクラブ
名古屋中ライオンズクラブ
名古屋北ライオンズクラブ
名古屋城北ライオンズクラブ
名古屋栄ライオンズクラブ
名古屋堀川ライオンズクラブ
報告：事務局



堀川でお月見 船上トークセッション
名古屋学院大学シティカレッジ2010
主催：名古屋学院大学地域連携センター
協力：堀川文化を伝える会
報告：事務局

イベントなどの開催の様子を整理しました。

市民意識の向上 イベントなど



第8回 堀川ウォーターマジックフェスティバル 報告:事務局

堀川ウォーターマジックフェスティバル
同時開催連携イベント
名古屋下町散歩日和 円頓寺商店街
報告:事務局



中日新聞(木曾地域版)
平成22年12月14日

第3回 木曾川がつなく山とまち インターネットフォーラム
企画・実施:木曾川がつなく山とまちインターネットフォーラム実行委員会
堀川1000人調査隊2010実行委員会
特別協賛:アサヒビール株式会社、社団法人中部建設協会
報告:事務局

76

イベントなどの開催の様子を整理しました。